

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 23 週（6 月 3 日～6 月 9 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	3 人 類型 患者 3 人、 血清型 O26 3 人
四類感染症 デング熱	2 人 推定感染地域 インドネシア 1 人、 アラブ首長国連邦 1 人
ブルセラ症	1 人 推定感染地域 中華人民共和国
レジオネラ症	1 人 病型 肺炎型
五類感染症 カバ ^h 6 耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 人 血清群 A 群 2 人、G 群 1 人
後天性免疫不全症候群	2 人 病型 AIDS 1 人、 無症状病原体保有者 1 人
侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
梅毒	12 人 病型 早期顕症Ⅰ期 6 人、 早期顕症Ⅱ期 2 人、 無症状病原体保有者 4 人
百日咳	5 人 年齢階級 10 歳代 3 人、 20 歳代 1 人、 70 歳代 1 人
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 人

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

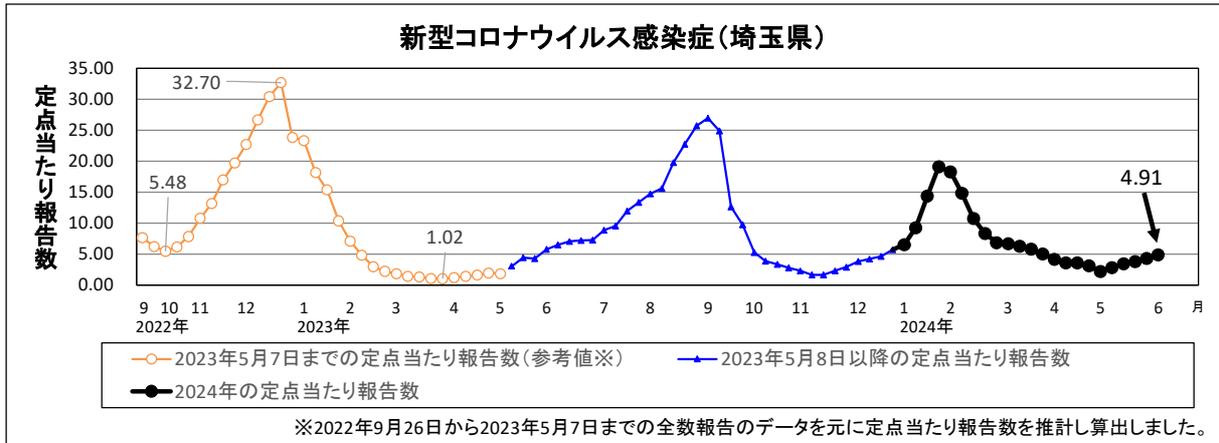
新型コロナウイルス感染症 (4. 29→4. 91: 図 1) の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加し、第 19 週以降緩やかな増加傾向にある。保健所別では、幸手 (10. 14) 保健所管内からの報告が特に多い。基幹定点における入院患者の報告は 34 人 (前週 43 人) であった。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎** (5. 14→4. 87: 図 2-1, 2) の定点当たり報告数は、前週に引き続きわずかに減少したものの、依然として高い水準にある。保健所別では、春日部 (11. 50)、幸手 (9. 78) 保健所管内からの報告が多い。**手足口病** (1. 47→2. 40: 図 3-1, 2) の定点当たり報告数は、第 19 週以降増加が続いており、過去 4 年の同時期と比較して高い状況にある。保健所別では、本庄 (5. 00) 保健所管内からの報告が非常に多く、坂戸 (0. 67→3. 83) 保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では 1 歳からの報告が最も多く、約 39% となっている。**RS ウイルス感染症** (1. 20→0. 99: 図 4) の定点当たり報告数は、前週より減少したものの、やや高い状況が続いている。保健所別では、引き続き南部 (4. 40) 保健所管内からの報告が最も多く、続いて幸手 (2. 67)、狭山 (2. 19) 保健所管内からの報告が多い。**ヘルパンギーナ** (0. 30→0. 51) の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加した。眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎** 9 人、**流行性角結膜炎** 37 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 5 人、**クラミジア肺炎** 1 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第23週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

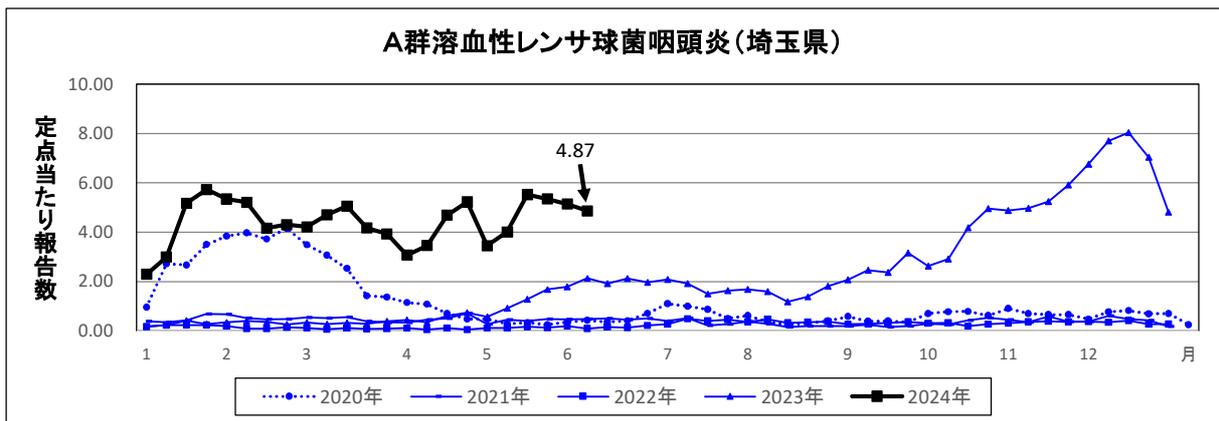


図2-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移 (2024年第21週～第23週)

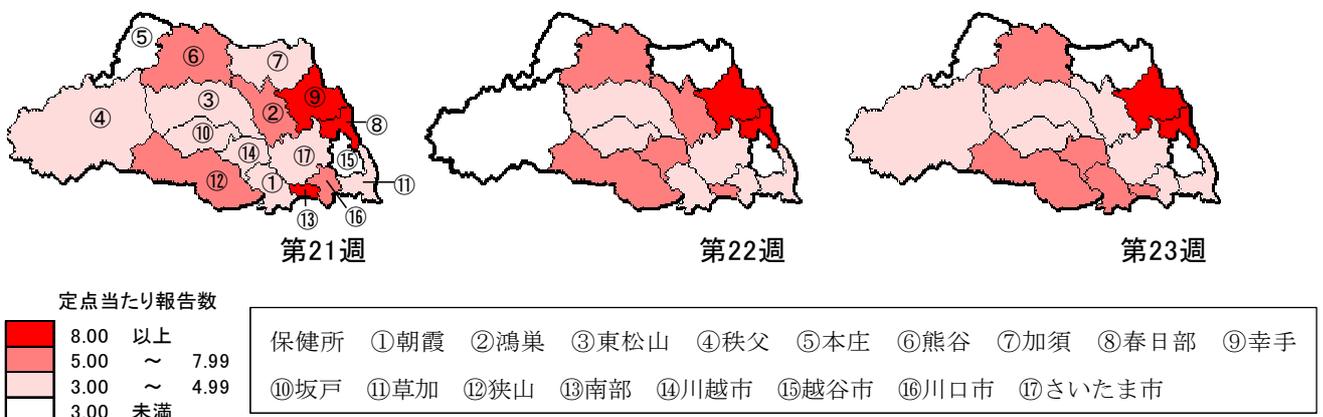


図 3-1 手足口病の定点当たり報告数の推移

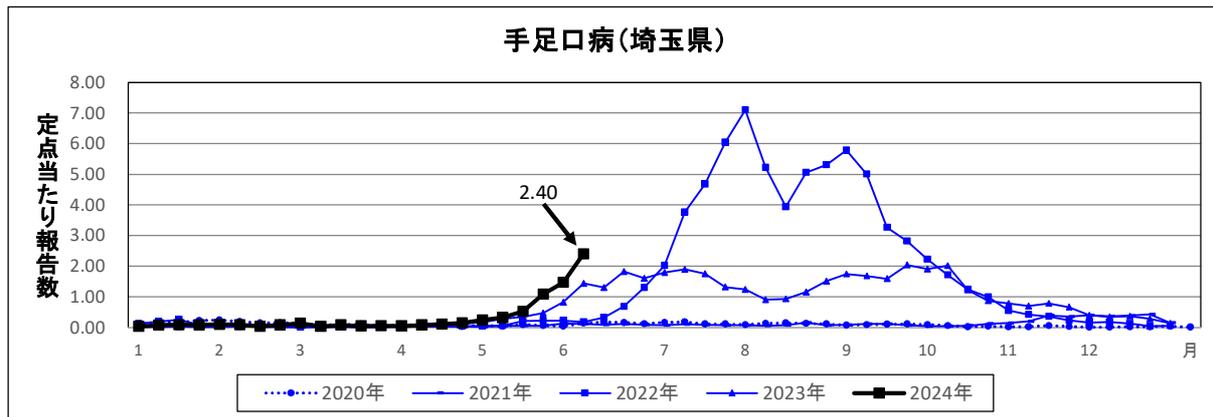


図 3-2 手足口病の保健所別流行状況の推移 (2024年第21週～第23週)

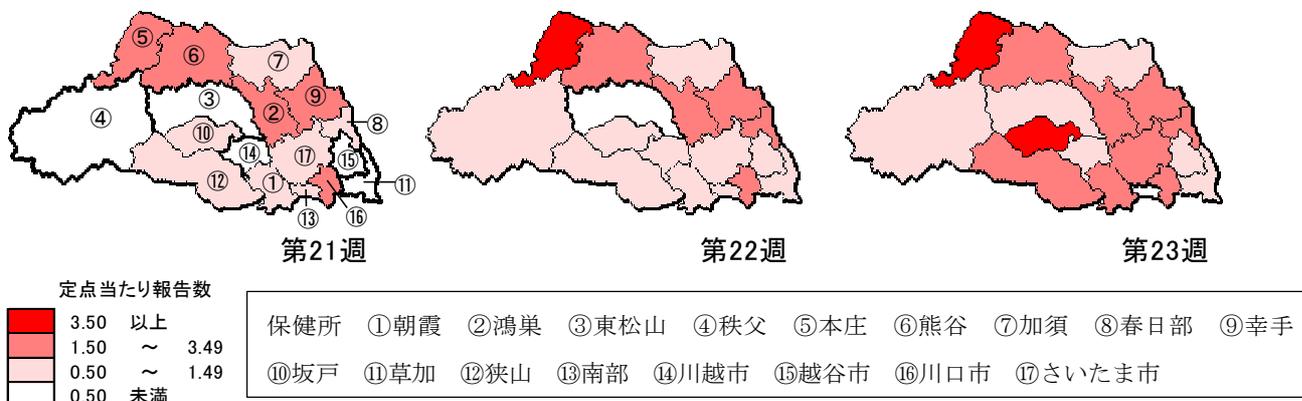
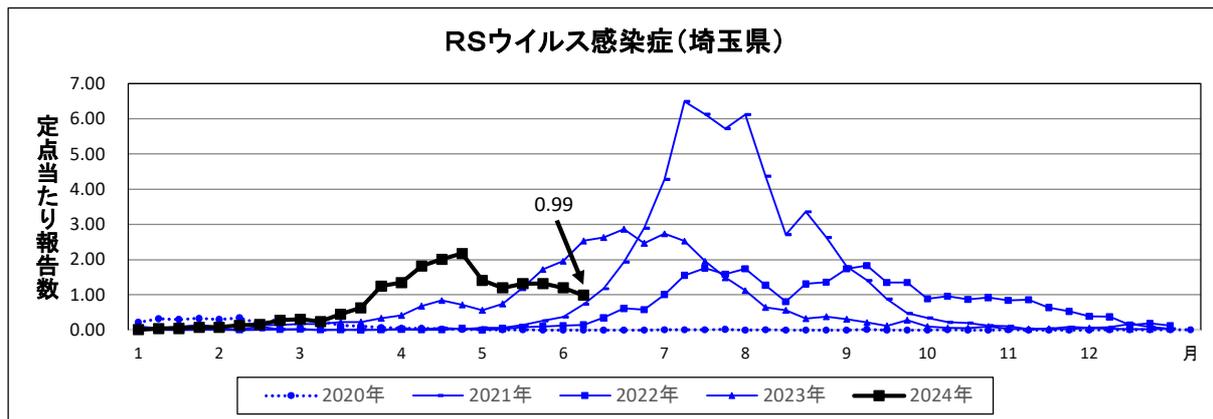


図 4 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第23週)

(2024年6月11日 15:15集計)

	今週届出	累計		今週届出	累計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	3	51			
四類感染症					
E型肝炎		18	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニバウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症	1	1
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	42
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱	2	5	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		12	侵襲性肺炎球菌感染症	2	45
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		5	水痘(入院例に限る)		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	33	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	12	185
急性脳炎		11	播種性クリプトコックス症		6
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	68	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	2	16	百日咳	5	25
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		9	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	2

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第23週

6月3日~6月9日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ(入院)	新型コロナウイルス感染症(入院)
		#1																				
全 県	報告数	32	1,276	163	148	798	907	66	393	12	66	84	17	9	37	-	-	5	1	-	-	34
	定点当たり	0.12	4.91	0.99	0.90	4.87	5.53	0.40	2.40	0.07	0.40	0.51	0.10	0.21	0.88	-	-	0.42	0.08	-	-	2.83
朝 霞	報告数	2	133	25	5	83	80	1	40	1	12	5	1	-	3	-	-	-	-	-	-	5
	定点当たり	0.09	5.78	1.67	0.33	5.53	5.33	0.07	2.67	0.07	0.80	0.33	0.07	-	0.75	-	-	-	-	-	-	5.00
鴻 巣	報告数	6	119	6	26	56	56	3	40	-	3	5	1	-	3	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.32	6.26	0.50	2.17	4.67	4.67	0.25	3.33	-	0.25	0.42	0.08	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	1	37	-	1	15	45	-	4	1	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.13	4.63	-	0.20	3.00	9.00	-	0.80	0.20	0.60	-	0.20	-	1.00	-	-	-	-	-	-	1.00
秩 父	報告数	-	10	2	3	14	-	-	2	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	2.00	0.67	1.00	4.67	-	-	0.67	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	-	30	2	1	7	-	5	20	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	-	4.29	0.50	0.25	1.75	-	1.25	5.00	-	0.25	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
熊 谷	報告数	6	58	1	2	40	54	2	27	-	5	11	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.46	4.46	0.13	0.25	5.00	6.75	0.25	3.38	-	0.63	1.38	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	1.00
加 須	報告数	2	33	4	2	13	1	1	4	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.20	3.30	0.67	0.33	2.17	0.17	0.17	0.67	-	0.33	-	0.17	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-
春 日 部	報告数	-	47	6	9	69	36	1	20	-	-	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	-	4.70	1.00	1.50	11.50	6.00	0.17	3.33	-	-	-	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	5	142	24	17	88	12	10	28	1	2	2	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.36	10.14	2.67	1.89	9.78	1.33	1.11	3.11	0.11	0.22	0.22	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	1	48	4	6	26	64	2	23	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.10	4.80	0.67	1.00	4.33	10.67	0.33	3.83	-	0.50	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
草 加	報告数	2	121	1	12	42	88	1	17	2	-	8	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.11	6.37	0.08	1.00	3.50	7.33	0.08	1.42	0.17	-	0.67	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	1	144	35	14	114	50	5	24	1	5	2	4	9	3	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	0.04	5.76	2.19	0.88	7.13	3.13	0.31	1.50	0.06	0.31	0.13	0.25	1.80	0.60	-	-	-	-	-	-	3.00
南 部	報告数	1	24	22	10	37	51	2	2	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	0.13	3.00	4.40	2.00	7.40	10.20	0.40	0.40	-	0.80	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
川 越 市	報告数	-	53	2	8	42	29	6	9	-	1	1	1	-	5	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	-	3.79	0.25	1.00	5.25	3.63	0.75	1.13	-	0.13	0.13	0.13	-	2.50	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	3	73	5	2	18	44	3	9	-	1	1	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1
	定点当たり	0.23	5.62	0.63	0.25	2.25	5.50	0.38	1.13	-	0.13	0.13	-	-	-	-	-	2.00	1.00	-	-	1.00
川 口 市	報告数	-	93	5	13	45	112	9	35	4	9	21	4	-	6	-	-	2	-	-	-	7
	定点当たり	-	4.89	0.38	1.00	3.46	8.62	0.69	2.69	0.31	0.69	1.62	0.31	-	1.50	-	-	2.00	-	-	-	7.00
さいたま市	報告数	2	111	19	17	89	185	15	89	2	15	17	3	-	13	-	-	1	-	-	-	8
	定点当たり	0.05	2.58	0.68	0.61	3.18	6.61	0.54	3.18	0.07	0.54	0.61	0.11	-	1.44	-	-	1.00	-	-	-	8.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第23週 6月3日～6月9日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	32	-	-	1	1	-	1	-	1	-	-	1	6	13	1	3	1	3	-	-	-
新型コロナウイルス感染症	1,276	6	6	14	8	3	8	5	8	7	10	9	78	142	181	147	162	172	139	105	66
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	163	18	38	60	30	12	-	3	-	2	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	148	-	12	47	14	31	13	8	9	4	7	-	2	-	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	798	-	9	31	61	60	85	77	83	89	77	67	116	7	36						
感染性胃腸炎	907	12	53	101	97	96	84	70	79	60	48	41	84	11	71						
水痘	66	-	4	5	4	2	5	4	4	6	8	6	18	-	-						
手足口病	393	3	44	152	77	43	30	15	5	3	3	8	4	1	5						
伝染性紅斑	12	-	-	-	1	-	2	2	-	1	4	2	-	-	-						
突発性発しん	66	-	16	38	8	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	84	1	17	29	7	13	5	7	2	-	2	-	-	1	-						
流行性耳下腺炎	17	-	-	-	-	3	-	2	4	5	1	1	1	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	9	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	3	1	1	-	
流行性角結膜炎	37	1	-	-	1	1	-	3	2	2	2	1	1	-	5	4	9	1	3	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	5	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
新型コロナウイルス感染症(入院)	34	2	1	-	-	-	-	1	-	1	1	1	1	1	-	1	24				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第21週 (5月20日～5月26日)

令和6年6月12日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は第12週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.13)、茨城県(0.98)、大分県(0.64)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は35例と前週と比較して増加した。都道府県別では20都道府県から報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～9歳(9例)、40代(3例)、50代(2例)、60代(4例)、70代(6例)、80歳以上(9例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(14.09)、鹿児島県(5.34)、北海道(4.84)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,489例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(30例)、1～9歳(35例)、10代(10例)、20代(13例)、30代(18例)、40代(30例)、50代(78例)、60代(153例)、70代(395例)、80歳以上(727例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は和歌山県(4.47)、山口県(3.60)、福井県(3.28)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(1.99)、新潟県(1.98)、鳥取県(1.89)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(12.68)、山形県(11.54)、北海道(9.35)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(14.64)、愛媛県(8.78)、富山県(8.62)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は群馬県(8.77)、福井県(8.08)、大分県(7.50)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は東京都(0.25)、神奈川県(0.14)、千葉県(0.12)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は高知県(1.36)、群馬県(1.13)、大分県(1.06)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(0.22)、沖縄県(0.17)、埼玉県(0.14)である。

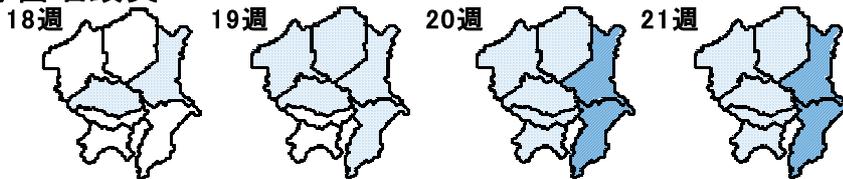
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.57)、香川県(1.20)、青森県(1.17)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。10都道府県から11例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(3例)、5～9歳(4例)、10代(3例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年第21週(5月20日～5月26日): 通巻第26巻 第21号 より

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、千葉県(6.82)、茨城県(6.81)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



2024年 21週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	330	118	5	12	52	40	60	43
	定点当たり	0.24	0.22	0.98	0.07	0.14	0.20	0.14	0.12
新型コロナウイルス感染症	報告数	16,554	5,203	444	258	200	987	1,246	1,166
	定点当たり	3.35	3.41	3.70	3.39	2.35	3.78	4.47	3.22
RSウイルス感染症	報告数	4,748	1,042	74	34	35	217	115	338
	定点当たり	1.51	1.09	0.99	0.71	0.67	1.32	0.91	1.28
咽頭結膜熱	報告数	2,599	591	70	13	59	157	70	114
	定点当たり	0.83	0.62	0.93	0.27	1.13	0.96	0.56	0.43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	15,769	4,518	511	243	227	878	859	1,040
	定点当たり	5.03	4.72	6.81	5.06	4.37	5.35	6.82	3.94
感染性胃腸炎	報告数	15,515	4,233	201	95	245	871	676	1,246
	定点当たり	4.94	4.42	2.68	1.98	4.71	5.31	5.37	4.72
水痘	報告数	684	268	4	16	8	40	65	62
	定点当たり	0.22	0.28	0.05	0.33	0.15	0.24	0.52	0.23
手足口病	報告数	6,672	1,344	78	74	456	178	111	277
	定点当たり	2.13	1.40	1.04	1.54	8.77	1.09	0.88	1.05
伝染性紅斑	報告数	180	132	1	4	1	14	15	66
	定点当たり	0.06	0.14	0.01	0.08	0.02	0.09	0.12	0.25
突発性発しん	報告数	1,011	325	16	18	32	60	53	83
	定点当たり	0.32	0.34	0.21	0.38	0.62	0.37	0.42	0.31
ヘルパンギーナ	報告数	885	206	2	7	59	34	17	64
	定点当たり	0.28	0.22	0.03	0.15	1.13	0.21	0.13	0.24
流行性耳下腺炎	報告数	210	95	5	-	4	23	11	31
	定点当たり	0.07	0.10	0.07	-	0.08	0.14	0.09	0.12
急性出血性結膜炎	報告数	34	20	-	-	-	15	-	5
	定点当たり	0.05	0.10	-	-	-	0.36	-	0.10
流行性角結膜炎	報告数	470	218	40	9	5	39	21	16
	定点当たり	0.67	1.04	2.35	0.75	0.36	0.93	0.62	0.41
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	1	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	6	1	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	137	22	7	-	-	1	-	11
	定点当たり	0.28	0.25	0.54	-	-	0.08	-	0.44
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	1	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	-	0.04
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	11	1	-	1	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	0.14	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

5月に採取されたインフルエンザ検体は8検体で、AH1pdm09亜型が5件、AH3亜型が2件検出されました。また、麻しんが疑われる検体が9検体採取されましたが、麻しん及び風しんウイルスは検出されませんでした。

細菌検出状況

三類感染症

令和6年5月31日現在

臨床診断名	病原体名	分離月			備考(5月分)
		3月	4月	5月	
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌O157	4	4	2	H7(VT1&2):1、H-(VT1&2):1
	腸管出血性大腸菌O26	2	1	1	H11(VT1):1
	腸管出血性大腸菌その他	5	4	4	O103:H2(VT1):2、OUT:HUT(VT2):1、OUT:H2(VT1&2):1
腸チフス	チフス菌	1 (1)			

コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフスに関しては、()内に海外感染例を掲載

四類感染症

令和6年5月31日現在

臨床診断名	病原体名	分離月			備考(5月分)
		3月	4月	5月	
レジオネラ症	<i>Legionella pneumophila</i> SG1	3		1	
ライム病	<i>Borrelia afzelii</i> (PCR陽性)			1 (1)	ルーマニア

()内は海外感染例再掲

五類感染症(全数把握)

令和6年5月31日現在

臨床診断名	病原体名	分離月			備考(5月分)
		3月	4月	5月	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症	<i>Klebsiella aerogenes</i>		2		
	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1	2	1	
	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	1	2		
	<i>Escherichia coli</i>		1		
	その他CRE			1	<i>Klebsiella oxytoca</i> :1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	A群レンサ球菌(<i>Streptococcus pyogenes</i>)	3	9	6	
	B群レンサ球菌(<i>Streptococcus agalactiae</i>)	1	3	1	
	G群レンサ球菌	4		2	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i> :2
	その他レンサ球菌	1			
侵襲性髄膜炎菌感染症	<i>Neisseria meningitidis</i>			1	
侵襲性肺炎球菌感染症	<i>Streptococcus pneumoniae</i>		1		
播種性クリプトコックス症	<i>Cryptococcus</i> 属真菌		2	1	<i>Cryptococcus neoformans</i> :1

五類感染症(定点把握)

令和6年5月31日現在

臨床診断名	病原体名	分離月			備考(5月分)
		3月	4月	5月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	A群レンサ球菌(<i>Streptococcus pyogenes</i>)			1	

感染症発生動向調査
2024年

- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第22週](#)

感染症の流行状況 2024年 第23週

2024年第23週（6月3日～6月9日）の要点

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎](#)の定点当たり報告数は、前週に引き続き、わずかに減少したものの、依然として高い水準にあります。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	↓	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★★	ヘルパンギーナ	↑	★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★★
水痘（みずぼうそう）	↑	★	流行性角結膜炎	→	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン